

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

社 会		東京書籍
総 評		<p>学習の進め方では「つかむ 調べる まとめる いかす」が各単元に示され問題解決の見通しがもちやすく工夫されている</p> <p>単元終末の「まとめる」学習では、多様なまとめ方の例を示しており、個に応じた学習を保障している。</p> <p>学習の題名の後 改行せずに本文の記述があるので、読みにくい印象がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の進め方について、学習問題のつくり方など具体的な方策が示され、主体的・対話的に学ぶことができるように工夫されている ③ ○ 「いかす」学習では今までに学習したことをもとに自分考えを記述し、生活に生かすことができるような例を提示している。⑤
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学び方コーナー」を見る、聞く、ふれる 読み取る 表す・伝えるなどに分けて工夫して配列している。⑥ ○ 重要語句については、同ページの本文外に「ことば」として取り上げ、その語句について補説している。③ ○ 問題解決的に学習活動を分かりやすく進めることを重視し、配列している。④
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製本はしっかりしている。また5、6年を上下巻に分け、子どもの持ち運びの負担を軽減している。① ○ アニメのキャラクターを使用し、子どもに親しみやすくしている。① ○ 写真やイラストが鮮明である。③ ○ インタビューや具体的な人を登場させ、子どもが身近に感じる工夫をしている。④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の学習内容、前学年の学習内容などを最初に提示し、見通しをもって学習できるように工夫されている。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きの地図資料など比較して確認できるように工夫している。① ○ 2つのグラフを並べるなど、比較したり、相違に気付いたりしやすいよう工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学年の学習では身近な近畿地方の地域教材の記述がすくない。③
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」のコーナーは掲載の規則性がわかりにくい。内容が「調べること」と重複していることがある。
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の提示がページによって位置が異なるため、子どもにとっては探す必要がある。
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習をまとめ、ひろげる学習はあるが、学習全体を振り返る学習がやや少ない。
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「まとめる」「いかす」では、教科書に直接書き込める欄が多く、使いやすい点もあるが、ノート指導等の妨げになる場合も考えられる①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

社 会		教育出版
総 評		<p>小單元ごとに「問い」が示され、その問いの解決のために、何をどのように調べていけばよいかの分かりやすさ示されている。また、見開きの最後には、「次につなげよう」というコーナーで、学習が連続するように工夫している。</p> <p>「まとめる」学習では、みんなで作った学習問題を振り返っているが、板書例に掲載されていたり、しなかったりと分かりづらい。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ見開き2ページで1単位時間の学習が進められるように設定され、授業の展開が分かりやすく工夫されている。③ ○ 問いをどのように解決していくのか、学習計画が示されているので、問題解決的な学習の学び方が身に付くように工夫されている③ ○ 思考力・判断力・表現力等を育成するために、「まとめる」学習では学習問題について考えたことの出だしの例文で示し、書くことへの抵抗を少なくしている。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前の学年の学習の振り返りや社会科の見方や考え方を示し、子どもの見方・考え方を働かせて学習が深い学びへと深化するように工夫している。① ○ 地域や身近な人たちの考えや思いの記述を多く掲載することで子どもが自分たちの生活や身近な社会的事象に目をむけることができるようにしている。④ ○ 学習問題の解決方法を資料の見方や調べ方など具体的に示し、子どもの問題解決的な力の育成を重視している。⑤
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字のフォントが適切であり、児童に読みやすくなっている ○ 写真や資料、人の話等の色使いに統一感があり、見やすくなっている。
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前学年の学習や発達段階に応じた、見方や考え方の例を示す工夫がみられる。また、他教科とのつながりを示すなど、横断的な学習の視点が示されている。
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が興味関心もつことができるように、関係者のインタビューやコラム等を多く掲載している。
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ みんなで作った学習問題とその学習問題の予想の記述にずれがある部分がある。
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに「問い」「学習問題」が丁寧に記述されているため、逆に個々の子どもが自らの問いをもつことを妨げている場合もでてくる。②
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きに多くの資料を掲載しているために、小さくなったり、見にくくなったりしている資料や地図も目立つ。③④
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びリンクが示されているが、どのような内容の詳しい情報なのか、分かりにくい。①
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学年では子どもの社会見学の様子を多く使っているが、吹き出しのある写真とそうでないものがあり、どのような意図でそうしているのか分かりにくい。②

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第4地区）

社 会		日本文教出版
総 評		<p>社会科の問題解決の見通しをもつことができるように、「疑問を見付ける」「調べる」「まとめる」「つかえる」と提示し、問題解決的な学習の課程が分かりやすく構成されている。</p> <p>多くのコーナーを設け、子どもの学習の支援を工夫しているが「キーワード」コーナーと「むずかし言葉」の内容が類似していたりして分かりにくい。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめには子どもが興味・関心をもつことができるような資料や写真を掲載し、子どもが主体的に学べるように工夫している。③ ○ 「学びを生かそう」コーナーをおき、学習したことと自分の生活を関連付けることができるように工夫している。①④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見方・調べ方のコーナーを設け、子どもたちが何をどのように調べ、その結果、どのように考えるのか、表現するのか等を示すことで、子どもの問題解決的な学習に支援をする工夫をしている。① ○ 単元の終末には「わたしたちの学びを生かそう」というコーナーを設け、よりよい社会の在り方等を考える態度を養うことを支援する工夫がみられる。④⑦ ○ 見方・考え方のコーナーでは、「空間」「時間」「相互関係」を働かせて学習できるように工夫している。① ○ 学習が途切れないように、子どもの「問い」が連続してつながっていくような、内容、構成にしている。⑥
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じて、資料やグラフ等の工夫がみられる。 ○ 挿絵や写真の大きさ、文字の大きさは適切である。
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真や資料の配置は子どもが調べやすくするための工夫をしている。①。 ○ 資料や写真、挿絵は「空間」「時間」「相互関係」に気付きやすいものを選択している。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最近の社会的な事象を多く掲載している。また、古い写真なども適度に配置し、時代の変化に気づきやすいように工夫している。①②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ AIの発達など、これから大きく変換の可能性があるものなどを、もう少し取り上げがやや少ないように感じる。①② ○ 大阪に関係する社会的な事象も多少取り上げられているがやや少なく中学年の学習に影響が考えられる。④
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 丁寧に調べる、考えるが学習内容や方法に示されているために、個々の柔軟な考えや発想が逆に妨げられる可能性がある。
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高学年は上下巻がないため、やや重くなっている。 ○ 資料や各コーナーの記述の文字がやや小さく見にくいものもある。
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の終末に学習を振り返ったり、内容を広めたりする手立てにややかたよりのある。
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料は多く掲載されているが、子どもの問いを生み出す中心資料が分かりにくい。